

40ヘクタールを超える谷津干潟が整備され、経年変化により自然の循環システムの機能が低下していることを強く感じていました。早期に改善しなければ、今後、谷津干潟はさらに大きな問題を抱えることになるという危機感から様々な取り組みを行いました。

市議会にて行政に質問

平成29年 習志野市議会 第二回定例会 一般質問にて質問をしました。

(質問)

谷津干潟のアオサ対策について

国の調査研究も含め今後の取り組みについて伺う

(回答)

谷津干潟では年間を通してアオサが広範囲におよび、特に夏季の高温期においてアオサが枯死し、それが腐敗することにより悪臭が発生しております。谷津干潟は国有地として、環境省が所管しており、これまでも本市から環境省へアオサ対策を講じるよう要請してまいりました。

現在、環境省では、アオサの悪臭対策を含めた「国指定 谷津鳥獣保護区 保全事業」を平成22年度より実施しております。具体的な対策を申し上げますと、潮汐や満潮時の風によって干潟中央部のアオサが岸辺に集積・堆積するのを防ぐため、砂を盛り地盤を高くする嵩上げ(かさあげ)や、アオサの吹き寄せを防ぐために木杭を設置いたしました。

また、アオサの堆積状況について経過観察・調査を継続的に実施しております。さらに、アオサの腐敗臭によって悪化している周辺住民の生活環境を改善するため、市民団体や谷津干潟自然観察センターと協力し、アオサの回収およびゴミの除去作業等を実施しており一定の効果が認められているところであります。しかしながら、アオサの繁茂が著しい時期においては、周囲に悪臭がおよび、周辺住民等から対策を求める声が寄せられておりますことから、その窮状(きゅうじょう)を環境省に伝えるとともに、今後とも一層の取組み強化を要請してまいります。

市議会にて発議案を提出

平成29年 習志野市議会 第三回定例会 発議案を提案し採択されました。

(平成29年習志野市議会第3回定例会)

発議案第 5 号

谷津干潟の水路の再整備を求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり習志野市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成29年9月29日

習志野市議会議長

田 中 真太郎 様

提出者	習志野市議会議員	相 原 和 幸
賛成者	習志野市議会議員	関 桂 次
〃	〃	清 水 大 輔
〃	〃	飯 生 喜 正
〃	〃	帯 包 文 雄
〃	〃	佐々木 秀 一
〃	〃	小 川 利 枝 子
〃	〃	平 川 博 文
〃	〃	宮 内 一 夫
〃	〃	央 重 則
〃	〃	佐 野 正 人
〃	〃	谷 岡 隆

市議会にて発議案を提出

平成29年 習志野市議会 第三回定例会 発議案を提案し採択されました。

谷津干潟の水路の再整備を求める意見書

本市に存する谷津干潟は、ラムサール条約登録湿地となり、約20年が経過しているが、その中で近年さまざまな問題が発生している。

大きな問題として、谷津干潟内に繁茂している大量のアオサがある。

このアオサは春から夏にかけ広範囲に繁茂をするが、夏季の高温により枯死し、腐敗することで、悪臭が発生し、近隣住民に大きな影響を及ぼしている。

このアオサの繁茂の要因として、干潟の海水の出入りが妨げられていることが挙げられる。

谷津干潟には東関東自動車道や国道357号、JR京葉線の下に海と干潟をつなぐ水路が存在している。この水路は、現在、貝類及び土砂が堆積し、干潟の満ち引きを大きく妨げている。

この堆積物の除去により海水の出入りは改善されるが、この水路は経年劣化や塩害により、腐食・損傷が激しく、堆積物を除去することで水路の側壁が崩壊するおそれがあることから、実施できない状況にある。また、崩壊により、上部に存する通路や道路にも大きな影響を及ぼす危険性も懸念される。

よって、本市議会は政府に対し、早期に関係機関と協議し、水路の再整備を実施するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年 9月29日

習志野市議会議長

田 中 真太郎

提案理由

本案は、内閣総理大臣、その他政府関係機関に対して、標記意見書を提出するものである。

市議会にて発議案を提出

平成29年 習志野市議会 第三回定例会 発議案を提案し採択されました。



習志野市は谷津干潟におけるアオサの繁茂・腐敗による悪臭の発生について、解決策を講じるよう環境省 渡嘉敷 奈緒美環境副大臣に平成29年12月21日に要望書を提出しました。

谷津干潟におけるアオサの繁茂・腐敗による悪臭の発生について、解決策を講じるよう環境省へ強く要望しました。

近年、谷津干潟においてアオサと呼ばれる海藻が繁茂・腐敗し、その腐敗が原因とされる悪臭問題が深刻化しております。

この問題を解決するため、宮本泰介市長が渡嘉敷奈緒美環境副大臣へ地元住民の窮状を訴えるとともに、アオサ問題を解決するため、より一層注力いただくよう強く要望いたしました。

なお、当日は小林鷹之衆議院議員も同席しました。

本市は地元自治体として、今後も環境省が進める取り組みを全面的に支援してまいります。

今後、習志野市および習志野市議会が一丸となり谷津干潟のアオサ対策に取り組んでいかなければと痛感しております。